



8月19日

働く車と一緒に本に親しむ

市中央図書館で「はたらく車とおはなし会」が開催されました。働く車を展示し乗車体験などすることで、乗り物が出てくる絵本にも興味を持ってもらおうと企画されたもので、大勢の親子連れが訪れました。

この日は、消防車や救急車、パトカー、小型四輪駆動車、工事車両が集合。子ども達は運転席でハンドルを握ったり、装備品の説明を受けたりしました。館内では働く車が出てくる絵本のお話もありました。

大井町から来館した勝美咲ちゃん(6歳)は「近くで見えてかっこよかった。パトカーに乗って、マイクでしゃべることができてうれしかった」と喜びました。

恵那峡さざなみ公園一帯で恵那峡納涼水上花火大会が開催されました。今年で47回目となる恒例の恵那峡での花火大会は、3艘の台船から打ち上げられる花火が湖面に映し出されるのが特徴。名物の水上花火など約2千発の花火に、訪れた3万人の観光客から大きな歓声が上がっていました。



8月18日

恵那峡の夜空と湖面を光の華が彩る

今年の花火大会は、連続テレビ小説「半分、青い。」にちなんで、半分为青色の花火が打ち上げられたり、五平餅を模した花火も打ち上げられたりして、会場は大いに盛り上がりました。



8月5日

鈴愛と律が里帰りトークショー

連続テレビ小説「半分、青い。」のロケ地となった岩村町本通り西町商店街で、ドラマに出演した子役二人がトークショーに登場し、詰め掛けた350人の観衆を前に、撮影時の思い出などを語りました。

二人はヒロイン榎野鈴愛の小学生時代を演じた矢崎由紗さんと、幼なじみの萩尾律の小学生時代を演じた高村佳偉さん。矢崎さんは「キャベツを持って商店街を走っていたシーンを思い出します」と、高村さんは「長い距離の糸電話は初めてだった。風や川の音などで鈴愛の声が聞こえにくいこともあった」などと笑顔いっぱい話し、会場は大いに盛り上がりました。



8月1日

澄ヶ瀬やなで焼きたてアユをがぶり

上矢作町の澄ヶ瀬やなに、やな開きに合わせて上矢作こども園と串原こども園の園児45人が招待されました。

園児らは上村川で川遊びを満喫した後、やな場の竹簀の上で、振る舞われた焼きたてのアユの塩焼きを仲良く味わいました。上矢作こども園年長組の荻山七緒ちゃんは「川遊びは楽しかったです。アユもおいしかったです」とうれしそうに話しました。

澄ヶ瀬やなは、地元の方で組織する澄ヶ瀬ヤナ組合が運営しています。9月30日までの期間中、上村川の清流を楽しみながら、アユの塩焼きや五平餅などを味わうことができます。



8月19日

派遣生20人がたくましく帰国報告

恵那文化センターでオーストラリア派遣事業(主催:市国際交流協会)の帰国報告会があり、派遣生20人が現地での体験や学んだことを報告しました。

派遣事業には市内の中学生18人と恵那農業高等学校生2人が参加。7月29日から8月6日までオーストラリアトゥーンバ市オーキー地区を訪問し、現地の学校やホームステイ先で交流活動を行いました。生徒たちは「はっきりと意思表示することが大切」「言葉や文化が違って心は通じ合う」「日本の文化を伝えられるうれしさを感じた」など、交流を通じて学んだことを堂々と発表しました。



8月19日

中野方川で夢中になってマスつかみ

中野方町の中野方川でマスつかみ大会があり、地元のこども園児や小学生、その保護者ら68人が参加しました。

中野方地域協議会では、子ども達が安全に親しめる場所にしようと、川の整備を行っており、今回のイベントを企画しました。

用意された300匹以上のマスやアユ、ウナギが放たれると、子ども達は夢中になって追いかけて回り、捕まえました。捕まえた魚は、早速炭火で焼かれ振る舞われました。中野方小学校1年生の近藤由衣さんは「魚をつかむのが楽しかった。家に帰ってみんなで食べたい」とほほ笑みました。



8月11日

涼しさ求めて寿老の滝が大人気

猛暑となった今年の夏、三郷町にある寿老の滝が、天然の涼しさを求めて訪れる多くの家族連れらでにぎわいました。

お盆期間に入ったこの日は、水遊びをする子ども達や、水辺でバーベキューを楽しむ家族の姿で大にぎわい。滝つぼ近くでは、勢いよく流れ落ちる迫力満点の滝に打たれてはしゃいだり、間近で写真を撮ったりして楽しみました。

管理を行う市観光協会三郷支部の丸山勝造支部長は「三郷町の名所として、先人から引き継がれてきた場所。これからも守り続けていきたい。癒しの場所として安全に楽しんでください」と思いを込めました。



8月5日

県消防操法大会で笠置分団が優良賞

郡上市のめいほうスキー場で開催された第67回岐阜県消防操法大会に、恵那市代表として市消防団笠置分団が出場し、優良賞を受賞しました。

地区大会などで選ばれた県内の消防団から28隊が出場。今年の大会は小型ポンプ操法で、水槽の水をポンプで送って放水し、標的を倒すまでのタイムや操法の正確さ、各隊員の規律などの技術を競いました。

指揮者の逸見直樹さんから5人の選手達は、周りからの熱い声援の中、この日のために積み上げた訓練の成果を発揮。上位から7番目の得点を獲得し、見事優良賞に輝きました。